

1 地域委員会活動の促進

(1) 推進会議の開催

地域支援職員制度実施要綱第8条により、支援チーム間の連絡調整及び情報交換を行うため、支援職員を対象に推進会議を下記のとおり開催しました。

- 開催日時 平成28年9月1日(木) 午後3時00分～午後4時30分
開催場所 総合福祉会館 3階会議室
参加者 44名
内容
- ・地域委員会制度と地域支援職員制度の説明
 - ・地域委員会活動の関わり(2地域から事例発表)
 - ・グループワーク①(他地域)
事例発表も踏まえて、支援職員がどのように地域委員会の活動に関わっているのか。
また、自分がどの部会に属して、どのような活動をしているのか。
 - ・グループワーク②(同地域)
他地域で交流した内容を出し合い、担当する地域の課題について、どう解決すべきか交流してください。

(2) 部会別交流会の開催

部会別に交流会を行うことにより、気づきを発見していただき、より良い活動につなげていただこうと各地域委員会において各部会1名の出席をお願いし、部会別交流会を下記のとおり開催しました。

- 開催日時 平成28年10月3日(月)
午後7時30分から
開催場所 関市役所6階 大会議室
参加者 64名
内容
- ・地域委員会制度の説明
 - ・部会別交流会
 - ・発表



交流会で出た意見

- ・総務部会→ラインやフェイスブック等のSNSが有効。特に若い人に情報発信していきたい。
- ・スポーツ部会→武芸川地域で開催したバスケが好評だった。
スポーツをからめた婚活を開催してみたい。
- ・福祉部会→県下で毎週のように婚活イベントを開催しているので、地域外から集めるのは大変。
田原マップを作成するのに協賛を得た。
- ・安全部会→防災・減災意識の向上をするため、防災講演会を開催した。
防災啓発用のオリジナルウォーターを製作し、各家庭に災害用として配布する。

2 まちづくり講演会の開催

自治基本条例制定後、協働のまちづくりを推進するため、毎年、関市まちづくり講演会を開催しています。

今年度は、日本のどこにでもありそうなどかな田舎の町で、「葉っぱビジネス」で大成功を収められた、仕掛人の横石先生をお招きし、地域資源を活かしたまちづくりを学びました。

関市まちづくり講演会
葉っぱで年商2億6千万円
山あいの町に仕事が出来た

彩(いろどり)の仕掛け人
(株)いろどり代表横石氏
のお話が聞ける!

とき 2/18(土) 13:30~
ところ 武蔵川生涯学習センター
演題 「一枚の葉っぱから生まれた幸せ」
～居場所と出番づくり～
(株)いろどり代表取締役
横石 知二氏

参加費 無料!!

主催：関市 共催：関市市民活動センター
お問い合わせ：関市役所企画部市民協働課 TEL0575-23-7711(直通)

回数	期 日	演 題	講 師
第1回	平成27年3月13日	「市民が主役のまちづくり～いま、私たちがすべきこと～」	東京大学名誉教授 大森 彌 氏
第2回	平成28年3月13日	「実践に学ぶ！ 地域を支え輝かせるまちづくり」	高崎経済大学地域政策学部 大学院教授 櫻井 常矢 氏
第3回	平成29年2月18日	「一枚の葉っぱから生まれた幸せ～居場所と出番づくり～」	(株)いろどり代表取締役 横石 知二 氏

3 関市自治基本条例普及啓発

本年度も市の職員等が講師となり、皆さんの地域に出向く出前講座を実施しました。

学校教育課と連携をとり、中学校の公民の授業で行いました。平成28年度は、下有知中学校で開催、市長も講師を務められ、生徒から大変好評をえました。

他に緑ヶ丘中学校と関高校を予定していましたが、緑ヶ丘中学校は、スケジュールがとれず、関高校は、台風で中止となりました。



日 時		団 体	参加者数	場 所
平成28年11月30日	10:45	下有知中学校3年生	76人	下有知中学校

4 市民活動センターの運営状況

市民活動の総合窓口・拠点となる機関で、市民活動と行政をつなぐ役割を持ち、相談・アドバイス業務やNPO法人の設立を支援しています。平成28年度センター主催で開催された講座は次のとおりです。

◆講演会「岐阜における子どもの貧困と学習支援」

6月18日（土）講師：中川健史さん
（NPO法人仕事工房ポポロ代表） 参加者 62名

関市の子どもの12人に1人が貧困で、10年前から倍増していますが関市にはまだ学習支援をしている場所はありません。

「第4期関市まちづくり市民会議」で、「チーム支援隊」が結成されて、貧困家庭の学習支援への取り組みが始まりましたが子どもの貧困についての課題をより多くの方に認知していただくため開催しました。

子どもの困窮と学習支援を考える
講演会

2016年6月18日（土）
わかさぎ・プラザ
総合福祉会館3F

開演 13:30
15:00終演

現在6人に1人の子どもが貧困状態であると言われ、未来を担うはずの子どもたちに社会的な困難が降りかかっています。子ども時代の貧困は、その後の成長に大きく影響します。今、私たちにはどのような支援が求められているのでしょうか。

中川 健史 さん
Takeshi Nakagawa
一般社団法人ぎふ学習支援ネットワーク共同代表、
NPO法人仕事工房ポポロ代表

定額60名（申込順、入場無料） 申込先：事務局
●申込先：事務局 電話0562-22-1111
●申込先：事務局 電話0562-22-1111
●申込先：事務局 電話0562-22-1111

岐阜における子どもの貧困と学習支援

◆「関市のソーシャルビジネスプレゼン大会事前研修会」

11月26日（土） 参加者 8名

講師として株式会社PEER 代表取締役、東海若手起業塾OBOG 会会長の佐藤真琴さんをお迎えし、大会の発表者として立候補いただいた方や、気になってきてみた、という方々と一緒に、各々が思い描く事業についてじっくり考えました。



※ソーシャルビジネス＝ビジネスの手法を用いて地域や社会の課題に取り組む継続的な事業

◆関市のソーシャルビジネスプレゼン大会 中間発表会

12月27日（火） 参加者 11名

1月24日（火） 参加者 11名

関の課題を解決するビジネスのタネを抱く関市民団体として、5名のプレゼンターに参加いただきました。

コーディネーターが1人に1人付き、プランをよりよくするために一緒に考えた事業を、中間発表として報告しました。

アドバイザーから、事業計画やターゲット、資金計画について、細かく指導頂きました。



◆関のソーシャルビジネスプレゼン大会

1月28日（土） 参加者51名

2回の中間発表を経て、プレゼン大会を開催しました。

5名が登壇し、10分間の発表を行い、審査員からのコメントを頂きました。

審査員の方々からは、するどい指摘や、登壇者を支援するような温かい言葉を頂きました。

子を産み育てる母親へのサポート体制を関市で作り上げる熱意と現状を強く訴えた方が優勝されました。



◆川北秀人さんと一緒に岐阜で小規模多機能自治の自主勉強会 in 関

2月4日（土）

IIHOE代表の川北秀人さんをお招きして、市内外の地域委員会の方々や、勉強会に興味を持たれた方と一緒に小規模多機能自治について勉強しました。川北さんからは、これまでの20年とこれからの20年とでは、高齢化の速度が格段と違ってくる。地域の方にこの現状を理解していただくには、「情と言葉ではなく、データで説得すること」や、「地域を外側から見ること」が大切だとお聞きしました。

